

西日本支店長会 Branch

2021.3 No.452

Branch
西日本支店長会

2021年3月 No.452

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL 092(711)5190 FAX 092(711)5199 e-mail: shitenchokai@nishi-nippon-np.jp

 西日本新聞社



「早春賦、穏やかな春の到来です。」 撮影：浜崎 憲吾（長崎市在住）



株式会社しくみデザイン代表取締役
芸術工学博士
中村 俊介氏

誰もがクリエイターになる社会へ ～作る楽しさを知ると世界が変わる～

デジタル化が急速に進む中で、小学校ではプログラミング教育が2020年度から必修化されています。11月の西日本支店長会例会は、「誰もがクリエイターになる社会へ～作る楽しさを知ると世界が変わる～」と題して、株式会社しくみデザイン代表取締役で芸術工学博士の中村俊介氏が講演。メディアアートの作品づくりからスタートし、創造的ビジュアルプログラミングアプリの開発を通じて、作る楽しさを多くの人に知ってもらおうとしています。

(講演日:2020年11月20日)

「自分で最後まで作りたい」
まずレゴのテーブルを作っている様子を映像で紹介します。2010年12月に作ったもので、会社に来られた方の目を引き宣伝効果は抜群です。1万8627個のレゴを使い、その上にガラスを置いてテーブルにしています。テーブルがレゴになっているだけで、打ち合わせに来られた方が、この会社は何か面白いことをやってくれるという気持ちでスタートするので効果が高いのです。

1975年生まれの45歳。名古屋大学建築学科で学びました。何かを作るのは小さいころから好きでした。高校は進学校に進み、大学は何かを作るところと考えたときに、建築しか思い浮かばなかったのです。楽しそうと入ったのですが、建築がすごく好きだというわけではなかったことから、学科の友達とはギャップがあり、あれ何か違うなと思うようになったのです。

自分がやりたいことが分からないまま大学院まで建築に行けるのかと思っていたら、名古屋大学の

大学院に落ちたのです。落ちてラッキー。神様が「やめろ」と言っていると思いました。

1年浪人です。建築とは違うものをやりたい、デザインをやりたいと思い、大学の指導教官に「建築はやめたいです」と言ったら、「俊介は何をやりたいの」と言われしました。「建築は考えてから完成するまでいろんな人が関わる。自分で最後まで作りたい」という話をしたら、「プロダクトデザインやグラフィックデザインをやったらどう」と言われて、「九州に変な大学がある。これだったら俊介に合う」と紹介してもらったのが九州芸術工科大学（芸工大）の大学院です。今は九大に吸収されていますが、僕が居たときは単科大学。芸工大の最後の卒業生で、芸工大の博士です。

芸工大大学院にはデザインで入りました。大学では建築だったの絵を描いたりすることもありませんでした。しかし、ずっと絵を描いたりデザインをしたりしている人たちの中では負ける、と入って気が付きました。先輩たちである大学の学生の方が絵やデザインがうまいのです。入ってそうそうデザイ



「瞬彩」 撮影:若原敦朗(北九州市在住)

西日本支店長会 **Branch** 2021.3 No.452

CONTENTS

- 02 **Report** ① 誰もがクリエイターになる社会へ
～作る楽しさを知ると世界が変わる～
株式会社しくみデザイン代表取締役
芸術工学博士 **中村 俊介氏**
- 06 **Report** ② 「空気読まない」のススメ
—これからの時代を生き抜くために—
西日本新聞社 特別論説委員 **永田 健氏**
- 10 **Report** ③ 海人族と宮地嶽神社
宮地嶽神社宮司 **浄見 譲氏**
- 14 **Report** ④ 最新技術動向と新規事業の予兆
初代日本マイクロソフト 代表取締役社長 **古川 享氏**
- 18 会員異動 新入会員

ナーは無理と諦めました。

そんなとき、建築学科のときにCADを開発するアルバイトをしていたことを思い出しました。プログラミングは独学だけど、ちょっとだけできました。映像とプログラミングを組み合わせて新しいことをすれば、やっている人は少ないと思ってメディアアートを始めたのです。2001年の事でした。

テクノロジーで新しい体験を

楽器が弾けません。このことが無茶苦茶コンプレックスです。だけど練習が嫌いです。練習しないで弾ける楽器はないかなと思って作ったのが「KAGURA」。27歳のときです。メディアアートとして作っています。体の動きで音を鳴らす作品で、カメラの映像の動きをリアルタイムで解析。音は動きの位置によって鳴っているのです。

最初は、カメラで動きを検出して音が鳴ればいいというレベルで、音楽ではありません。悩んでいたときに、同じ研究室の後輩にバンドマンがいました。「どうしたら良

くなるの」と言ったら、「コード進行がある」と教えてもらいました。コード進行を調べたら、簡単な数式二つで表せると気付き、プログラミングしやすいと作ったら結構きれいな音になったのです。

「KAGURA」が賞をもらったのです。デジタルコンテンツのグランプリでした。当時、メディアアートみたいなコンテストはほとんどなく、東北地方が地域活性化のために募集していました。ここでグランプリを取り100万円をもらいました。

バイトの代わりにこういうのを見つけて、賞金を稼げばいいと思いました。賞金の高そうなコンテストを探し、そこに自分が作りたいものと、審査員がどんな先生で、どういのが今までに受賞しているかなどをリサーチをしたうえで自分が作りたいものを作りました。作品はほぼ全部賞を取って、2年間でトータル200万円以上稼ぎました。作品を作って賞に応募するのではなく、賞を取るために作品を作っているの、みんなとモチベーションが違うのです。

受賞がきっかけとなり、特許を申請しました。その後福岡県が

しい」はやった人です。だからいかにユーザーが楽しめるかを考えて作っているのです。

会社をつくって10年後、つまり「KAGURA」を作って10年後に「KAGURA」をリニューアルしました。それぞれのアイコンにいろんな音を埋め込んで、体を動かすだけで演奏できる楽器にしたのです。音のセットを変えれば、どんなものでも演奏できます。どんな音でもリズムが取れば、音楽になります。リズムをキープするのはパソコンなのだから、そんなのはパソコンがやるという考え方です。そうしたら、インテル社主催のコンテストで世界一。10年前に作ったものを、同じコンセプトで作ってコンテストに出したらグランプリを取ったのです。やっと時代がついてきたのです。

3年後、スペインのスタートアップのコンテストでグランプリを取りました。今度は作品ではなくて、これを使ったビジネスプランです。それで、中国に呼ばれて、何百人の前で演奏して無茶苦茶気持ち良かった。今思うと、ここで満足してしまったのかもしれない。どうやってお金に換えるか

やっていたヤングベンチャー育成支援事業に採択されました。補助金により産業化に結びつけるものでした。起業したいと思っていたわけでもなく、こんなのを作ったら面白いなと思っていたら2005年に会社をつくることになりました。そんな流れなのでなかなか儲かりません。どうやって稼ぐのかすら分からなかったのです。

「体を動かして音を出す楽器を作りました」。「面白いですね。で、どうするんですか」。「パソコンを使って」と言う、「はあ？」となるのです。今の時代にはスマホがあります。しかし、15年前です。カメラを使って演奏する楽器で、販売はウェブ。意味が分からないですよ。『パッケージ販売をどうやって流通に乗せるのですか』と、すごく言われました。

そんな時代に作ったので無理。体を動かして演奏する楽器にしたけど、ビジネスにならない。自分がやりたいのは、演奏というよりはテクノロジーを使って新しい体験をつくりたいということ。カメラで動きを検出して音が出る。何に使えるのかと考えたのが体感コ

まで、深く考える前に、僕個人の一つの目標を達成してしまったのではないかと思っています。

僕ははずつとクリエイターです。会社の立ち上げのときは6人で、今は14人です。気付いたことがあります。結局、作っている人が一番楽しいのではないかと。作っているときが一番楽しくて、その部分を僕は独占してしまっているのではないかと。

15年前に大学院を卒業してすぐに会社をつくったので、みんな独身でした。結婚して子どもが生まれて親になると、子どもたちがクリエイティブのまんま大人になれるのかを考え始めたのです。僕は運よく作る側の仕事に就けたと思っています。でも、そういうルールは少ない。すごい人が作って、それを消費するのが普通になっています。だけど、テクノロジーによってクリエイティブになれるのじゃないかなと思ったのです。

会社立ち上げのときから昨年まで、全くよそからのお金を入れていませんでした。100%僕の資本と、売り上げだけでぐるぐる回していました。この間、初めて資金を調達しました。なぜかと言う

ンテンツです。今はメディアアートはいろんなところがやっていますが、15年前はほぼゼロでした。

2008年に、甲子園球場の大きい画面を使い、お客さんを映して、お客さんの顔にトラのイラストを重ねる。そうすると、次は自分じゃないかと思えますよ。これは、アサヒビールのスーパードライの宣伝です。「本当に効果があるの」と言われましたが、売り上げがぐーんと上がりました。これが良かったのは、関西だからかもしれませぬ。関西の方は、どうせ買うならおもしろい方ということで、本当に売り上げが上がったのです。ショッピングモールに行くと、店舗の前にカメラと画面があり、風船を割るゲームが楽しめるものがあります。あれはほとんどをしくみデザインが作っています。子どもたちを画面の前で遊ばせることで、広告が別の価値を生み、広告効果が高くなることを最初に実現させたのです。

遊んで風船を割ったら画面の下に当たりが出てくるので、それをスマホで写真に撮って会計のときに見せると割引してもらえる。GAPの2店舗をモデル店舗にした

と、自社でプロダクトを作った広めるには、先にお金が必要なのが初めて分かったからです。

今まではお客さんがいる状態で、仕事は向こうから依頼があるので、何でお金が必要のかなと思っていました。今はスタートアップ的な動きをするようになったのです。自分たちがクリエイターだったところから、クリエイターを生み出すクリエイターになろうと決めた。『クリエイター・クリエイター』と呼んでいます。

遊びながらプログラミング

2015年にアプリを作って、2017年に世に出しました。プログラミングは、難しく思われるけれど、つまらないものではありません。実際、やりだしたら楽しいのですが、まだ絵を描いたりするのと同じレベルになっていません。どうしたらプログラミングを楽しくやれるのかと考えながら作ったのが、創造的ビジュアルプログラミングアプリの「Springin」（スプリングイン）です。スプリングインは遊びながらプログラミングできるアプリで、描いた絵を動かしたり、

「すごい」は一度だけ、楽しいは何度でも」。これがクリエイティブポリシーです。いつもこういうことを考えながら、モノを作っています。基本的にテクノロジーを使う会社なので、「すごい」と思われがちなのですが、そう思われしてしまう後につながらないのです。「すごい」は作った人で、「楽



西日本新聞社
特別論説委員
永田 健氏

「空気読まない」のススメ—これからの時代を生き抜くために

西日本支店長会 & パートナースクラブ12月合同例会の講師は、西日本新聞の日曜朝刊にコラム「時代ななめ読み」を執筆している永田健氏(西日本新聞社特別論説委員)。『「空気読まない」のススメ—これからの時代を生き抜くために』と題して、空気を読むことがいろんな弊害をもたらしていることを、太平洋戦争で日本軍最大の失敗とされるインパール作戦などの事例を交えて紹介しました。

(講演日:2020年12月8日)

2018年4月から西日本新聞の日曜朝刊2面でコラム「時代ななめ読み」を担当しています。政治、国際情勢、社会事象、好きな音楽の話などいろんなことを書いています。

「時代ななめ読み」掲載の1回目から、「空気を読まないススメ」について書いています。初回は「場の空気で窒息する前に、窓を開けて空気を入れ替えましょう」といったことを書きました。

この講演のレジメに、幾つかの問いを記載しました。第1問は「「空気読めよ」と人から言われたことがありますか」、次が「「空気読めよ」と人に言ったことがありますか」です。

空気を読みたがることは、日本人に強い体質です。別の言葉で置き換えれば同調圧力。同じことをすることを、なんとなく強制される。そういう雰囲気のことです。これは悪いことばかりではありません。コロナ対策では、欧米では法規制をしていますが、日本はしていません。法律や条例で強制力

空気を讀みたがる日本人

を伴わなくても、みんななんとなくマスクをして自粛要請に従う。そういう面もあります。しかし、これが行き過ぎると自粛警察になり、パチンコ店たたきとか、不要不急のたたきとか、そういうことが起きてきます。

空気を讀んでしまうのは、日本人には特に強いものらしい。劇作家で劇団を主宰している鴻上尚史さんが、外国で演劇の活動をするとき、こんなことに気が付いたそうです。人を集めて何かをやるときに「自己紹介をしてください」と言う。そこで1人目が例えば「私、誰です。どこそこ出身で、幾つです。仕事は何です」と言うのと、日本人の場合は2人目からそのパターンを踏襲しますよね。それが外国人だと結構バリエーションがあるらしいのです。

空気を讀む弊害は何か。企業でみんなが空気を讀んでしまうと、新しいアイデアが出ない。出ても消極的になります。そして無難なところにしか落ち着かない。

さらに問題なのは、悪いことや間違ったこと、正しくないことを出ません。誰もやめようと言いつ

撮った写真に音声を付けたりとあります。

プログラミングは文字を使うというイメージが強すぎるので、文字を1回も使わないで、プログラミングの作品を作ることができればいいじゃないかと考えて作ったのが、このアプリです。絵をベースに、音とプログラミングを同時に扱えるようにしたものです。描いた絵を画面に配置しながらアイコンでプログラミングをするので、すごく簡単に作れるようになってます。

スプリングは去年の夏休み前に突然びっくりするくらいダウンロードが増えました。2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化される。先生たちが、世の中にあるツールはすごく使いにくいので、使いやすいツールはないかと探しているときに、スプリングという面白いものがあるぞとなっていたらしいのです。あまりにも伸びたことで、しくみデザインビジネスをこちにシフトさせようと思いはじめました。さらに新型コロナウイルスでさらに利用が増えました。

子どもは何も教えなくてもでき

るようになりませんが、まずは教育から事業をやるのかなと思っています。教育ツールとして作ったのではなくて、クリエイティブツールとして作り出したが、それを使つた教育をやりたいという話が多く増えているからです。

文科省と経産省と総務省がやっているのが「みらいプロ2020」です。企業と国が手を組んで小学校のプログラミング教育をしましよというものでアップルやドコモ、グーグルなどの大企業の中で、しくみデザインも採択されたのです。

プログラミング教育には、課題があります。一つは全てのプログラミング言語を先生が全部覚えて教えるのは、さすがに無理です。一緒にファシリテーションができるのが、先生に求められるようになってきています。もう一つは児童が男の子ばかりなこと。でもスプリングは女子が多いのですよ。なぜかという、絵がベースになっていて、この絵を元に何か動きを作るからです。

子ども向けでよく使われるScratchは米国のマサチューセッツ工科大学から生まれました。言葉をつなぐロジックがブロックに

なっているのです。言語の習得が必須です。言語は抽象化概念です。

教育の現場では、「9歳の壁」、「10歳の壁」があります。それまではできていたのに、5年生になると、急に落ちこぼれが出てくるのです。言語の抽象化が関わっています。抽象概念が理解できないと、問題が解けなくなってくるのです。脳の使い方の転換です。それには個人差があります。ほとんどのプログラミング言語は抽象概念なので、それができるようにならないと作れないのです。

プログラミングは小学校で必修化されましたが、プログラミングという教科ではありません。いろんな授業の中にプログラミングを取り入れることなので、1年生からやってほしいと書いてあります。しかし、小さい子が使えるものがないのです。

それと教科ではないので、成績がつきません。だから親の立場からすると習い事です。そうすると4年生から下で習わせることになります。しかし、世の中にあるツールは、5年生以上でないと理解できないものばかりです。スプリングがそこにうまく当てはまるな

なかむら しゅんすけ 中村 俊介

九州芸術工科大学大学院でメディアアート制作しながらユニバーサルデザインの研究で博士号を取得したのち、九州工業大学講師就任。2005年、在任中にしくみデザインを設立。全ての子どもたちがクリエイターになれるアプリ「Springin」を開発するなど、革新的な作品で注目されている。

と思っています。

スプリングは、誰でも作る人になれるようにと作ったものです。が、時代の流れで、小学校中学年や低学年の子どもができるツールとして使われています。そこでプログラミング教室向けにテキストを作つて、それを提供するサービスも展開しています。

学校向けの指導案も作っています。なぜ作れるのかというと、福岡県からしくみデザインに小学校の先生が1年間、出向に来ているからです。いろんな企業とコラボしながら、アワードも行っています。東京の小学校は先生がものすごく、子どもたちがアワードの賞を取れるようになってきています。

しません。心の中では「おかしい」と思っているけど、変なところで落ち着いてしまうのです。

レジメの質問は、『夏目漱石と私の写真を載せていますが共通点は』。答えは日本人で男、というぐらいいのですが、他に空気を讀まない、偏屈者という点です。

夏目漱石がいかに空気を讀まない人であったのか。昭和天皇が亡くなる直前も自粛の空気が吹き荒れましたが、明治天皇が亡くなる直前も同じようなことが起こりました。漱石は日記に「天子未だ崩せず川開を禁ずるの必要なし。細民これが為に困るもの多からん。当局者の没常識驚くべし。演劇その他の興行もの停止とか停止せぬとかにて騒ぐ有様也。天子の病は万臣の同情に値す。然れども万民の営業直接天子の病氣に害を与えざる限りは進行して然るべし。当局これに対して干渉がましき事をなすべきにあらず」と書いています。

「三四郎」という有名な小説は、熊本に住む小川三四郎が、列車に乗って上京するところから始まります。その列車の中で三四郎は、東大で自分の先生になる広田先生と偶然に出会い、世間話をします。

も、最大級の失敗です。

このときは現地の司令官が執拗に作戦をやりがったのです。作戦を認めるか認めないのか、軍幹部の話し合いでは、みんなは内心では「これは無理だ」と思っているのですが、1人があまりにも言い張るので、「こいつの面子を潰してはいけない」といった次元で曖昧のまま決定したと分析されています。空気で物事を決めてしまうと、いかに大変な結果を生んでしまうかという事例です。

健全な懐疑心を持つこと

組織の中で空気を読む弊害が、いろんなところに出ています。こういう集団には謎のルールがある。1、なぜか年上が偉い。2、同じ時間を消費することが大事。一次会に行ったら、二次会も行かなければならない、ということ。3、仲間外れをつくりたがる。そういう組織に自分がいるなと思ったら用心してください。

空気を讀まない人間になるにはどうしたらいいか。一人ぼっちを恐れない。孤立を恐れないことです。コロナの問題が起きて、「ぼっち」

そのときに「日本もますますこれから発展するでしょう」と三四郎が言うと、広田先生は一言「滅びるね」と言うのです。

別の作品「それから」では、漱石は主人公の男に「欧米と競争ばかりしていたら、牛と競争するカエルと同じで腹が裂ける」と言わせています。この時期の日本は、日露戦争に勝った直後。ロシアをイケイケになつていった。そのときに、こういうことを言っている漱石は、なかなかの偏屈者です。

漱石が背伸びをするなどという警告を発したにも関わらず、日本はその後、太平洋戦争をやつて「滅びるね」と言った直前まで突き進むのです。

無謀な作戦にも異論出ず

太平洋戦争の開戦でも「空気の」問題が出てきます。開戦について、猪瀬直樹さんの『昭和16年夏の敗戦』という本があります。1983年の出版で、最近再刊されて話題になっています。陸海軍が太平洋戦争を始める直前に、陸海軍のエリートを集めて作つた「総

の行動パターン」が注目されています。「ぼっち」とは、「二人ぼっち」の「ぼっち」です。「あいつはぼっち好きだ」と言うときは、冷やかしの意味合いの言葉でしたが、政府は新型コロナ対策として「密はつくるな」「でも消費しろ」と言っています。ぼっちでの行動だと両立できるのです。

「ソロキャンプ」が注目されています。熊本出身のお笑い芸人のヒロシさんが数年前から、一人でやるキャンプを始めて、本まで出しています。後書きに「私はこれまで『みんなだ』という言葉に振り回されていた。初めて自分を取り戻した」という意味のことを書いています。

ところが、日本では友達がいないと恥ずかしがる空気があります。2年生になつたら」という歌があります。2年生になつたら友達100人できるかな」という歌詞で、「ぞうさん」を作詞したまどみちをさんが作りました。国民的詩人のまどさんに異を唱えるのはおこがましいのですが「友達が100人もいるだろうか」と考えてしまします。

新聞社や放送局といった記者稼

力戦研究所」の話です。この研究所では総力戦をやつたら日本はどうなるのかをテーマに、軍事、外交、経済の各分野で、兵器増産の見通し、食料や燃料の自給度、運送経路、同盟国とどういう連携ができるかなどを分析しました。その結果、開戦後の緒戦の勝利は見込まれるが、その後は長期戦必至。その負担に日本の国力は耐えられない。戦争終末期にはソ連の参戦もあり、敗北は避けられないという結論を出していた。ところが、軍や政府の幹部は、この報告を受けたにも関わらず無視したのです。

衛するインパール付近を包囲したものの、英軍に次第に圧倒され惨敗。日本兵は世界有数の豪雨地帯で感染症や飢餓に倒れ、3万人以上が死亡したとされています。

太平洋戦争は教訓を讀み取るべき事案がたくさんあります。その典型がインパール作戦です。1944年3月から7月に、ビルマ（現ミャンマー）を占領した日本軍が、連合国軍による中国への物資補給の拠点だったインドのインパール攻略を狙った作戦です。補給を軽視して、十分な武器や食料なしで険しい山を越え、英軍が防

インパールまでたどり着いた日本軍兵士は、弾も食べるものも決定的に不足。そういう状況で凄絶な戦闘を強いられました。結局撤退して帰ってくるのですが、その帰りが悲惨。すごい豪雨地帯で伝染病が蔓延しマラリアではたばた亡くなった。死体が重なつていて、「白骨街道」と言われたのです。これは日本軍がやつた失敗の中で

業は「人脈が広い方が偉い」という価値観があります。皆さんの周りにも人脈自慢をする人がけつこっているのじゃないですか。あれつて面倒くさいですね。

健全な懐疑心を持つことも必要です。世の中でなんとなく常識的に、こういうことだと思われていることに對して、数字的に本当だろうかと思うことが空気に流されないポイントです。

一つの例で考えてみますが、なんとなく少年の凶悪犯罪が増えてきている感じを持っていませんか。凶悪犯罪とは殺人や強盗、レイプなどです。例えば少年による殺人事件の件数を調べてみると、ピークは昭和30年代。その後減つて、平成からは横這い状態が続いています。ピークのころの5分の1程度です。

昭和30年代といえば、映画「三丁目の夕日」の頃で、あの映画を見ると「いい時代だったな」と思うのですが、実は少年犯罪は多かったです。なんとなく増えているのではないかという前提で話をされるとそれは間違いです。過去の事を持ち出して「昔は良かった」と言う人がいますが、その過去は幻想であることが多いのです。

ムラ社会に染まらずに

手前みその話をします。空気を讀まないことで、西日本新聞社がどういう報道をしたのか。面白い例があります。2000年の森喜朗内閣。えひめ丸沈没事故のときにゴルフを続けていたとか、本人の失言といった不祥事があり、森首相は追い詰められていました。

そのときに記者会見をやることになりました。記者会見に参加するであろう大手の新聞社が放送局の総理担当記者の誰かが、総理宛てに「記者会見ではこういうことが追及される。そうしたら、こうやってかわしてごまかしてください」「みたいな指南をしたのです。後で指南書事件と呼ばれましたが、指南書を総理に渡そうとした、あるいは渡したのです。

その文書を西日本の総理官邸担当の記者が入手しました。うちの記者が官邸記者室のコピー機を開けたら、そこに誰かが置き忘れたのを見つけたのです。

自分たちが追及する相手に、こうやって逃げろ、こうやって胡麻化せとアドバイスしている。これ



宮地嶽神社宮司
きよみ ゆずる
浄見 議氏

あま 海人族と宮地嶽神社

大学卒業後、米国に留学しさまざまな体験をした宮地嶽神社(福岡県福津市)の浄見議宮司。西日本支店長会&パートナーズクラブ新春例会は、浄見氏が「海人(あま)族と宮地嶽神社」と題して、古代の博多と海外とのつながりについて詳しく解説しました。そして、今の時代の民主主義に触れながら、「次の世代を大事にさせていただくためには、神道的な考え方である寛容の精神を持つことが大切です」と締めくくりました。

(講演日:2021年1月14日)

1980年、憧れの米国に留学

宮地嶽神社の宮司を拝命して二十数年になります。私は次男坊兄がいましたので、自分の好きな人生を歩んでいこうと思い、大学を卒業して米国に行きました。その当時は旅行だとB1、B2のビザがあつたので簡単に行けましたが、長く行こうとなると、それなりのビザが必要でした。F2という学生ビザを取り、ニューヨークにあるコロンビア大学に留学しました。

なぜ米国に行ったのか。私は着物を着るなどの日本的なことが好きではなく、国際的なビジネスマンになりたいという願望がありました。国際ビジネスマンという私のカテゴリーには決まり事があり、年間に2往復はビジネスクラスに乗ることだと思っていました。

向こうでグリーンカードを取り、生活をするようになり、20年ほど前にワールドトレードセンターが爆破されました。これはポートオーソリティの持ち物です。これは、日本でいえば財団法人。民間トンネルとかジョージ

ワシントンブリッジとかの通行料で賄っているのがポートオーソリティです。私はインターナショナルビジョンといって、日本と米国で仕事をする方たちのマッチングをしていました。

米国に行ったのは1980年。日本がバブルに差し掛かったころです。ロックフェラービルを三菱地所が買うなど、非常に勢いが良かったころです。ニューヨークではいろんなことがありました。お酒を飲んで路上で寝込んだことがあります。そのときにお酒を飲むための紙コップを持っていました。朝起きたらその中にお金が入っていたのです。ベガと言うのですけれども、お金を貰う人たち、お金を乞う人たちです。そんな経験もしました。

ところが「兄が他界したから宮地嶽神社に帰ってこい」ということになりました。戦後生まれの我々は、米国は世界最大の文化圏で素晴らしい文化の国だと思っていました。米国にはピアノバーがあります。日本のクラブのようなところでは、駐在員の方はそんなところでは楽しんでいるというイメージがありました。私は現地では

はおかしいのではないかな。あまりに緊張感のないことではないかというところで記事化しました。当時、西日本の記者は記事化するかどうか悩んだそうです。なぜかというと、政治記者というムラ社会の常識なら、これは見逃すからです。全国紙と放送局の記者は、初任地から2カ所ほど勤務したら、東京に上がり、政治部配属が続きます。完全にムラ社会です。

西日本の場合、そこがちょっと違いました。福岡に本社があり、それから、政治部にずっといる記者はいません。政治記者ムラに染まっていなかったのです。記事化でそれなりの反響がありました。これも空気を読まずに書いたことで、状況が変わった一例です。

私はこれまで140本ほどのコラムを書いていきます。その中で一番反響があつたのが、2018年8月に書いた「東京五輪が待ち遠しくない」というコラムです。「国民一丸」が同調圧力に変わっていくのがいやだ、開催するのはいいけれどお祭り騒ぎが嫌いな人間はほっといてほしい—というように書くことができました。

共感よりもアンチの方が多いと

予想しましたが、ふたを開けてみると共感の意見がたくさん届きました。「よく思い切って書いた」「新聞でここまで書けるとは」といった内容でした。ありがたかったのですが、それを見て逆に考え込みました。「メディアの世界も思っていたことが言えない社会になっている」と、世間は見ているのではないかと実感したのです。

ここで一つ、皆さんにお願いしたいことがあります。自分は二人ぼっちになる勇気がない」「空気を読まない人間になれそうにもない」という人もいらつしやるかもしれませんが、少なくとも自分の下の人間に対して、異論を唱えるのを押さえつけるようなことはしないでほしい。それがレジメの質問の「俺たちの若い頃はなあ」と後輩や部下に言ったことはありますか」です。

「俺たちの若い頃はなあ」と言う人間と言わない人間。自分たちが若い頃に受けてきた理不尽なしきたりとか仕打ちとか、そういうものを「自分たちも我慢したんだから」という理由で若い人に押し付ける人間。もう一方では「自分たちはいやだったから」若い人たちにはさせ

ない人間。人間にはこの2タイプがあるといます。後者のタイプばかりになったら、おそらく企業の中で起きている不祥事は半分以上減るのではないかと思います。

さらにレジメの質問です。「ネットがあれば新聞は要らないと思いませんか」という問いです。こんな話があります。米国のカリフォルニア州にある人口3万人ぐらいのベルという市で、10年ほど前に起きた出来事です。この市では、市長と議会が結託して、どんな条例を変えて自分たちの給料をどんどん上げていった。市長の年俸を当時のオバマ大統領の倍ぐらいまで上げたのです。

地元の市民たちは、市長や議会幹部の羽振りがいいのでおかしいと思つていたのですけど、それを取材する人間がいなかった。ベル市には古い地方紙があつたのですが、経営難で潰れて地方紙の空白地帯になつていった。だから取材して報道する人間がいなかった。

最終的にはロサンゼルスタイムズが現場に行き取材。相当な妨害があつたらしいのですが、結局市長たちは逮捕されました。地方の現場で起きていることをウオッチ

なが た 永田 健

1958年生まれ。82年に西日本新聞社入社。長崎総局で雲仙・普賢岳噴火災害取材。東京支社報道部で村山政権、小泉政権などを取材する。バンコク特派員時代にはクーデターに遭遇。2009年から論説委員(東京駐在)として主として外交、防衛、国際問題を担当する。18年から西日本新聞の日曜紙面でコラム「時代ななめ読み」を連載中。

する報道機関は、やはり必要だと考えています。

最後にもう一つ。菅政権の特徴として、空気を読む官僚ばかりを育てています。言うことを聞かない奴は飛ばす、そういう人事権を自分が持っている。それをちらつかせることで、こつちが何をしろと明示しなくても、官僚や自分の部下たち、取り巻く政治家たちを自分の思い通りに動かす政治、それが菅氏の政治手法だと思います。

「GO TO事業」は、見ていてブレーキ遅すぎ、アクセル早すぎ。菅政権の周りの人たちが空気を読みすぎるによつて、間違つたことをしていないか、我々も見守りますし、皆さんも見守ってほしいと思います。

ほそぼそと生活していたので、羨ましいという思いもありましたが、今は「なぜアメリカにそれほど魅力を感じたのだろうか」と思っています。

世界で日本人だけが性善説

福岡に帰ってきて神道の勉強をすることになります。会場の皆さまは新型コロナウイルス感染症を防ぐためにマスクをされていますね。神社では昔からお祭りをするときは必ずマスクをしています。私たちはマスクではなく覆面と言っています。覆面を着けて神様の前に出て行事をするのが本来の神職の姿です。自分たちの呼吸は汚くて臭いということです。それを神様に向かってかけてはいけません。そういう考え方が日本にはあります。日本人ほど世界で一番清潔な民族はいません。それがどこで成り立っているのかというと、世界中で日本人だけが性善説だからです。

日々の暮らしの中で誰かをだましてやろうという人は一人もいません。結果的にだますことになって、人をだましてやろうとい

生活している人は一人もいないと私は考えています。それは神様の前で真っ白なマスクをするところにも根差しています。われわれは人のために生きている、誰かのために生きている、神様のために生きているというような意識が根底にある民族なのです。

なぜ日本だけが性善説なのか。日本人が素晴らしいと言っているのではなく、西洋諸国などとは違うのです。まず宗教が違います。キリスト教とイスラム教が世界の人口の半分くらいです。この人たちの宗教は、罪を犯したことでこの世に生を授かるのです。この世で仕事をさせられるのは罰です。罰のために仕事をさせられている。だから神の世界に行ったら楽になるという考え方です。欧米の文化の発祥はギリシャ。パッカスという神様は酒ばかり飲んでいて、毎日のんびんだらりと過ごしています。

日本の神様は、ずいぶん違います。古事記に登場する天照大神のところに、罪を犯した弟の素戔嗚尊が来ます。そのときに姉の天照大神は何をしていたかというところ、機織りです。神様も働いているから、この国にとっては働くことは一

番大事なことです。

われわれの生活は、そういうところに根差していますので、日々ちゃんと働く、人をだまらずに真っすぐに生きていくことが一番大事な道です。神社は、神社神道と言いつ、神の道です。仏教は宗教です。キリスト教やイスラム教も宗教です。皆さま方の先頭に立って、神様に向かってお辞儀をしているのが神職という立場なのです。ですから説教をする人たちとは違うという立場を固辞しています。このようなお話をするのは、日本の文化とか歴史について話すことが、神道、神の道につながると考えているからです。

福岡に帰ってきて、いろんな修行をすることになりますが、「つくし舞」という舞の練習に励んでおり30年ほどになります。

博多の800年ほど前の地図を見ると、天神も中洲も博多駅のあたりも全部海でした。福岡という名称ができたのは、今から400年ほど前です。黒田如水が岡山からこちらに来て、名称を福岡にしました。それ以前は、那の津とか津と言っていました。津とは出張った所や港です。今より2000年

阿曇族は目の縁に入れ墨

博多は歴史的には一番古い場所であつたということは、想像に値するのです。今から2000年から2500年前の海岸線は、宗像の神湊から糸島を抜けて唐津まで白い砂浜が続いていました。その海岸に、海人族が中国大陸から渡ってきました。海人族は日本人の源流ということまで考える必要はありません。なぜかというと、今でこそわれわれは日本人で赤や紺のパスポートを持っているですが、今から2000年前というのは、どこの国というような線引きはないからです。

朝鮮半島から船を出すと、冬の初めには強い風が吹くことから2週間ぐらいで、九州北部に着きます。船の船先には、人身御供となる「汚れ人」を乗せていました。ヨーロッパでは人身御供は女性で船の下にくくり付けられていました。海の神様は男性神なので航海の安全を願って女性をくくりつけるのです。

その当時の船は、底が平らな船です。砂浜に着くと沈みません。そのときに汚れ人は2週間飲まず食わずで垂れ流しですから、海に



博多古図(左下が筥崎宮。天神や中洲、草香江などは海だった)

も前から津という言い方をしていました。日本には津が三カ所ありました。博多、難波、伊勢です。いずれも大きな港でした。

日本の歴史を語るときに古事記と日本書紀は絶対に外してはならない文献です。しかし、古事記や日本書紀が作られたのは1300年前。その前はどのような日本だったのかというと、古事記の中に書かれているのは2600年前。今の奈良県柏原の畝傍山で神武天皇が遷都されたというのが日本の始まり。

しかし、古事記が編纂されたのは今から1300年前ですから、その前の歴史ははっきりしていません。そのことを学校の授業では言わないのです。古事記以前の日本は、どういう国だったのかは分からない。どうやって分かるのかというと、中国の文献です。後漢書に邪馬台国について書いています。邪馬台国の卑弥呼というのは、3世紀前半。その前の時代については分からないのです。

2000年前くらいから博多の那の津は、東シナ海の貿易港として栄えた所だとされています。800年前には平清盛がこの港を素晴らしい港にして、日本有数、東南アジア有数の港にしたことは歴史として残っています。博多、福岡を考えると、一番大事に考えなければいけないのは、博多から遣隋使や遣唐使が中国に渡っていったということです。

その時代の船は、今の船とは全く違います。歴史を考えると、今日に与えられている文化や知識で判断しようとするのです。それは全く違います。まず字が書ける人が何%いたのか。数%だったのではないのでしょうか。

今、日本の人口は約1億2500万人ですが、江戸時代末期で3000万人程度。そういうことから考えても、その時代というのは1000万人ぐらいいました。なぜ分かるかというと、食べ物です。稲作が入ってきて人口が増えるのですが、稲作の前はドングリとかシイの実、ハスの実が主食でしたので、人口は増えませんでした。そういう時代がずっと続いていたのです。博多では炭素化されたシイの実やドングリがたくさん発掘されています。博多は一時期、一番人口が多かったところです。

縄文時代の終わりのころ、今から2500年ほど前に、弥生人がたくさん入ってきて、稲作文化となり少し変わってきました。そして古事記が編纂される少し前にがらりと変わりました。西暦500年から700年ぐらいに中国大陸からたくさん人が入ってきて、北部九州ががらつと変わり、それを契機に日本列島ががらつと変わっていくのです。

これもうろんな説があります。が、学者はそんなことは言いません。なぜなら教科書に書いていないようなことだからです。

飛び込みます。体をきれいにして上陸するのです。体をきれいにして上がってくるのを、今は襦（みそぎ）という言葉を使います。それが北部九州の文化の源流になっています。彼らは何を持ってきたのか。松の木を持ってきたのです。松の木のは、松脂がたくさん含まれていて松明という明かりをとませます。明かりをとますとすが出ます。そのすすを固めたもので、絵を描くことができますし、海人族の人たちにとっては入れ墨の材料になりました。

住吉神社の住は、入れ墨の墨です。顔に墨がついていたから住吉という苗字がついたと言われています。宗像氏も海人族の人たちです。胸に船の形の入れ墨をしていました。目の縁に入れ墨をしていたのは、阿曇族の人たちです。阿曇族の人たちが一番最初に北部九州に海人族の長として入ってきました。北部九州で一大文化圏をつくり、いろんな文化の源流をこの地に残し、日本全国に広がったと私は考えています。

安曇野は、阿曇の人たちです。熱田半島。これも阿曇の人たちです。熱田神宮の熱田、これも阿曇



初代日本マイクロソフト
代表取締役社長
古川 享氏

最新技術動向と 新規事業の予兆

コンピューターが登場し、インターネットの普及により、さまざまな情報が簡単に入手できる時代になっています。西日本支店長会2月例会は、「最新技術動向と新規事業の予兆」と題して、初代日本マイクロソフト代表取締役社長の古川享氏が講演。スティーブ・ジョブズやビル・ゲイツの仕事への向き合い方やこだわりを紹介しながら、社内活性化に成功したソニーの事例、米国で起こっているテレビの一大改革などを紹介しました。そして、一番大事なのは自分自身、次が家族、3番目が会社と語りました。(講演日:2021年2月8日)

25歳のときから描いてきた夢は、コンピューターが小型化し、多くの人々が手に入れるようになればいい。そして、ネットワークにみんながつながって、いつでもどこでもそれぞれが仕事などを自分のスタイルで出来る。そういう世の中になるためにパーソナルコンピュータが普及すれば、コンピュータはどんな形をしていても構わないということ。それが現実になってきました。

ビル・ゲイツやスティーブ・ジョブズはどんな人かというところ、お金に対してクリーンです。多くの財産を築きましたけど、ビル・ゲイツに新幹線チケットを私が買って会社で清算しようすると、東京駅でもものすごく怒り出して、「俺は個人で旅行するのに、なんで会社で清算できるんだ。そんなこと許せるのか」と言うのです。私が「お前の会社だからいいのじゃないか」と言ったら、完全にブチ切れました。怒り始めると、取り付く島もないという感じです。そのくせ、右と左の靴下の色が違って

製品ではなく夢を売る

も気にしません。仕事上では厳しいながらもプライベートでは愛すべき人でした。

ビル・ゲイツとスティーブ・ジョブズが対談をした時の事です。スティーブに上がって最初の冗談が、「みんなには黙っていたけど、俺たちは10年前から結婚していたんだ」とスティーブ。ゲイツが「冗談はよせよ。本気にされたら困るだろう」という和やかな雰囲気からスタートしました。この対談で「本当に会社を愛していないと、いい会社にはできない。もし会社を愛していないなら辞めた方がいい」と言っています。

スティーブは亡くなる直前に、米国の副大統領で社外取締役のアル・ゴアに「自分自身が亡くなった後に、スティーブだったらどうやっただろうとみんなが言い始めたら、それは会社にとって危険信号。だからそういう思考や議論は止めさせてくれ」と彼に言い残しています。ウォルト・ディズニーが亡くなった後、ウォルトはこう言うふう考えたに違いはないと言つて、ディズニー社が困難に直面したことがあります。

寛容な気持ちで日々を送る

本日は2021年の1回目の例

の人たちです。阿曇の人たちが北部九州から全国に散らばっていったのは、527年に起こった磐井の乱です。大和朝廷に召し上げられて、それではらばらになつていくのです。北部九州に少しだけ残つて居着いたのが住吉族の人たちで、住吉神社を形成しました。阿曇族の人たちは、志賀島の志賀海神社、宮地嶽神社、大川市の風浪宮。そういうところに阿曇族の人たちが居着いたのです。

博多の源流ともいえる阿曇の人たちには、海外との興味深い接点があります。エジプトのツタンカーメン。黄金のマスクの目の入れ墨がアズミと言うのです。エジプトでアズミというのは目のことです。アズミの入れ墨をしていた人たちが、北部九州に船で渡つて来たのです。

阿曇の磯良という人は、日本の舞の源流で、日本に芸能を伝えた一番最初の方と伝えられています。阿曇の磯良が舞っていたであろう舞が、つくし舞の源流です。その舞を宮地嶽神社では継承しています。

会ということ、今年がどんな年かをお話します。昨年は、静かな年でした。子年で、時計でいえばちょうど12のところ。今年は1のところ、十干十二支では、60年が一つのサイクル、120年で陰陽が回つてきます。120年が一つのくりになります。

今年は120年というくりの中の後半の半分を過ぎたところ、今から60年ほど前には何が起つたのかというと、1960年から1970年。日本が太平洋戦争で負けて、すこしずつ復興していく時代。その前の60年は大正時代を迎えるころ。この120年間はどんな時代だったかというところと武力。戦争で争いながら、それが少しずつ変わってきた時代です。この次はどんな時代が来るのかというところ、武力と武力ではなくて知力と知力。目に見えないもの、目に見えないもの同士、のぶつかり合いです。今年は十干十二支の4分の3以降ですから、今からそろそろ変わってきますよという時代の入り口です。次にやってくる時代は、形が見えないものと形が見えないもので何かを形づくるというような時代です。新しい時代へ

の対応ですから、頭を使って形のないものを、形にあるものにしていく、そういう時代が来ます。

民主主義がコロナ禍の中で失敗しています。民主主義は主権在民。一人一人が世の中をつくつていくと資本主義ができたのですが、あまりにも格差、拝金主義で世の中がおかしくなっているときに、新型コロナウイルスが入ってきました。皆さんがどう思ったのか。結局自分の責任ではなくて、政府何しているのよ、ちゃんとわれわれの面倒を見てよという人ばかりです。そうすると、自分の民主主義です。民ということを忘れているのです。統制経済や統制社会のようです。どこどこに行つては駄目まで、政府が決まなければいけないのでしょうか。かかりたくなかったら、自分がかからないようにすればいいのじゃないかと思ひます。

今から先の生き方は、誰かのために生きることです。神様のためでもいいし、家族や友達のため、会社のためでもいいのです。

きよみ ゆずる 浄見 譲

國學院大學を卒業後、米国・コロンビア大学へ留学。ロサンゼルス五輪(1984年)を機に国際文化交流業務に従事する。帰国後、春日大社に勤務。2004年、宮地嶽神社に帰任し、宮司就任。2013年、東京国立博物館大神社展・NY神社展においてアートディレクター・学芸員として参加。2014年、つくし舞国連本部自然環境日公演を行う。伝統芸能つくし舞宗家。門弟は40名。

し、本当はひどい国です。これほど人種差別をする国はありません。次の世代を大事にしたい。ただ、寛容の精神を持つことです。この精神とは、相手を大事にすることだし、相手を助けることだし、相手のためになつていくことなのです。あまり目くじらを立てずに寛容な気持ちで日々を送ってください。

新しい技術の流れと新しいビジネスの萌芽には、こんなこともあります。翼のついたドローンがあります。これは、中東戦争で米国の軍隊がスナイパーや爆弾を落とす

シヨンを上がっています。

新しい製品を作っています。香りのウォークマン、新しい時計や玩具がソニーの製品になってデビュー。場合によっては、投資したり、独自ブランドでデビューする製品もあります。辞めてやると思っていた社員が会社をつくって、それに対して投資や場所を提供してくれる会社になったことで、ソニー社員のモチベーションも上がっています。

品川にあるソニー本社1階のサービスセンターを取り払い、オープンスペースにして「ここに会社をつくれ」とコラボレーションオフィスになりました。社員が5人いたら会社が出来るから、2人まではソニーの社員を採用、3人は外から連れて来るルールにしました。若い人が、そこで新しい会社をつくり、新しい製品を作っています。香りのウォークマン、新しい時計や玩具がソニーの製品になってデビュー。場合によっては、投資したり、独自ブランドでデビューする製品もあります。辞めてやると思っていた社員が会社をつくって、それに対して投資や場所を提供してくれる会社になったことで、ソニー社員のモチベーションも上がっています。

を囲んで話を聞いてもらった時に、「古川君、ソニーは競合会社と付き合ってはいけない、協業禁止というのは外す。一緒に自由にやっていいというルールにしよう」と言ってくれたのです。

私がマイクロソフトで学んだことのひとつに、ビル・ゲイツはいろんなことを決めるのが早いという意思決定のスピードがあります。しかし、それは全てを自分で決めるのではなく権限移譲したうえでの決定。「それは駄目なアイデア」とずっと言いながら、ふと「俺が

間違ってしているかもしれない」と思った瞬間に、みんなの前で謝るのです。私は彼にサムと呼ばれていたのですが、「サムが詳しいの後は彼の指示に従え。人は何人つける。予算は幾らでやれ」と決めていきました。

ビル・ゲイツは、当初インターネットをあまり信じていなくて、「あれは悪い宗教だから、やってはいけない」と言っていた時期もありました。「ウインドウズにこだわっているのではなくて、インターネットをやらなければうちの会社は潰れる」と言い出した人の提言を聞いて、全社員にインターネットをどのように活用するかについてリポートを書かせ、全社で検討せよと号令を飛ばしました。間違いを認めたときの方向転換ひとつとっても機敏でした。

最近、クラブハウスというライブ配信が流行っています。しゃべっている最中に、そこに勝手に割り込むことができる機能があります。別府市長と福岡市長が、「ローカルこそグローバル」をテーマにクラブハウスを使い対談をされていました。多忙のお二人の対談は夜中過ぎでした。世の中で標準になっているものを採用するとだんだん平準化して誰がやっても同じになってしまう。しかし、頑張つて、その地方色を出して貫くと国内外から訪ねて来てくれる。別府の特色を生かした温泉をつくれれば、海外からもわざわざ入りにくるといったグローバルを話していました。

福岡市の高島市長のファンです。ブログを読むと、政府が決めたことの先を行っています。米国シアトルの先鋭的なベンチャー企業訪問に来られ、私も同行したことがあります。

社内起業家で企業を活性化

殺兵器として使ったドローン。このタイプをアフリカで、血液製剤を200^{キロ}から300^{キロ}圏内まで飛ばし、紙バラシユートで30^分以内のターゲットに落とす。戻ってきたドローンは紐で引つ掛けて回収します。血液製剤配布によって、アフリカにおける妊婦の出産時の死亡率がものすごく減りました。このアフリカにおけるビジネスの成功事例で、米国航空管制局の法律を変えて、昨年4月から米国でも同じサービスができるようになったのです。

新しいことにチャレンジする。一企業が、法律まで変えさせたりパーズ・イノベーションの一例です。九州で実験のサービスが成功すれば、全国展開するパイロットモデルにもなり得ます。

米国でテレビの一大改革

今、面白い技術がどんどん出ています。電気自動車のテスラの企業価値はトヨタを抜きました。実際には売り上げはそんなに伸びていません。企業価値として何でそういうことになったのか。従来は、売り上げの5割から6割が企業価値として評価されます。ところがIT企

業や新しい事業をやっているところは、現在の売り上げの7倍から8倍が価値として評価されます。60%しか価値として認めてもらえないのか。それとも、未来価値として、7倍の評価をされるのか。株価の評価にも大きな違いというか影響が出るのは間違いありません。

次世代型電動車椅子でウイルという東京本社の会社があります。米国で発表会をしたときにビル・ゲイツが来て、「いいものを作ったね」と声を掛けていました。ウイルの車椅子には自動運転機能が搭載されていて、すでに羽田空港で導入されています。従来の車椅子は、アシスタントが押してゲードまで同行しなければならなかったのですが、ウイルの車椅子は行き帰り自動運転操作が可能です。

クラブハウスは、今年1月28日のオープン時のリスナーは624人でしたが、2月6日には1万7000人に増加。いろいろな人々が自由にリスナーとし参加できるだけではなく、ボタンを押して「私にはこういうアイデアがあります」とリアルタイムに会話に参加し、答えただけなのです。

支店長会の皆さまは、社内ですうやつてメッセージを社員に伝えていますか。若い社員が提案したときに、日本らしい例では「10年早

い」と潰されるのが落ちなんですけど、うまく吸い上げた会社は成長しています。社内コミュニケーションを変えただけで大きく変わることもできるのです。

そのいい例が、最近のソニーです。ソニーは、5年前は若い人が辞めたがつていた会社です。モラルやモチベーションが最悪な状態まで落ちていました。上司にこんなことをやりたいんですと提案すると、ご多分に漏れず「10年早いだろう」と潰されるか「18カ月後に幾ら儲かるんだ」と言つて、若手の斬新なアイデアが通りませんでした。失望した有望な若手には、留学や起業とか、転職を考えている人がいっぱいいました。

そんなときにソニー銀行とソネットを立ち上げた十時裕樹さんが本社に戻りました。何人かのソニー社員を連れ、中華料理の円卓

役立つ。そんなことも起きています。米国ではテレビの一大改革が起きている。米国で4Kテレビを買うと4万円から6万円です。コモディティビジネスからサブスク립ションビジネスに代わったからです。

15万円のテレビを5万円で売り、月々5千円とか8千円の定期視聴料が入ってくる仕組みです。米国家電量販店などで売っているテレビには、サブスク립ションビジネスのためのOSが入っています。これはウォルマートが持っているOSです。

ウォルマートは、CD、ブルーレイ、DVDの販売で流通の25%ぐらいを持っています。しかし、ネットワーク経由でコンテンツ視聴が主流になるとパッケージ・コンテンツは売れなくなる。だったらネットワーク利用料を取るビジネスモデルが一番ということで、グーグルのOSを買収。アマゾンのプライムビデオボタンも付いていて、それを押した瞬間に課金できる仕組みになっています。毎月の売り上げから一定料金を徴収するビジネスモデルに変わったことで、テレビ販売のビジネスも変わりました。

米国のスーパーボウルといえば、テレビ放映のコマーシャルが1本あ

い」と潰されるのが落ちなんですけど、うまく吸い上げた会社は成長しています。社内コミュニケーションを変えただけで大きく変わることもできるのです。

イントレプレナーという概念があります。社内起業家のことです。大きな金銭の見返りを期待して提案書を書くのではなく、社内の有望な社員に生活の不安なく、新ビジネスの提案・遂行ができるよう支援することで社内起業家を育成することができま

会員異動 (50音順)

スカイマーク㈱

福岡空港支店長

茨木 実子氏 (石川県出身)



㈱ニューオータニ九州

ホテルニューオータニ博多
営業本部長

中島 欣久氏 (大阪府出身)



ホテルモントレ㈱

ホテルモントレ福岡
執行役員総支配人

丹野 利久氏 (神奈川県出身)



三井住友信託銀行㈱

理事福岡支店長
兼福岡天神支店長

白岩 啓孝氏 (福岡県出身)



新入会員 (50音順)

Sansan㈱

福岡支店長

中村 茂寿氏 (福岡県出身)



たり3億円ほどのスポンサー料金がかるほど全米国民が視聴する一大テレビ番組イベントです。今年50本のうち21本のコマースャルに最新機能が取り入れられていました。シャザムです。これはアップルが買収し、すでにiPhoneなどでも利用されている音声認識技術です。これを利用して例えば、コカ・コーラは、バスケットボールの試合のハイタイムショーの音楽に合わせてスマホをかざします。すると無料クーポン券が、自分のスマホに自動的にダウンロードされる仕組みです。実は音の中にこのプログラムに飛びなさいとか、このホームページに飛びなさいとか、この注文書を出しなさいとか、人間の耳には聞こえない波長の音で自動的に誘導できる仕掛けになっているのです。

ンセンティブとしてキックバックする新しい広告宣伝モデルに変わってきています。

3番目に大事なのが会社

コロナによって何が変わるのか。各分野でパラダイムシフトが起きています。仕事以外についても考える良いチャンスです。

私がマイクロソフトに入ってきた新入社員にいつも語り掛けていたのは、1番目に大事なものは自分自身。だから自殺をしたら駄目。2番目には家族を大事にする。3番目が会社。転職は何回もしてもいいだろう。だけど4回も5回も離婚するのは自分自身に問題があるかもしれない(笑)。自分を一番大事にしろ。それをずっと保つたら本当にいい仕事をするようになる。自分自身に言い聞かせる。自分自身が受けた恩を、恩送りそして次世代に受け継いでいくことが、本当に大事です。

「未来を予測すると予測は必ず外す。未来は自分自身で創り出すものだ」というアレン・ケイのメッセージを宣伝ポスターで見、アスキーに入ることを決めました。

ヤジを飛ばしているのではなく、自らプレーヤーになって伸びる方策もあるのです。縁もゆかりもない会社があります。その会社と組んだら、新しいビジネスが始まるかもしれない。西日本支店長会のような集まりは東京では絶対あり得ません。支店長会で出会ったことで新しいビジネスが生まれるチャンスがあります。

スターバックスは、この次に提供するドリンクを、年間100種類の新しいフレーバーを試作し、本社1階にある店舗でお客や社員に飲んでもらい、そのフィードバックを参考にして新製品を決めています。お客さまの実際の反応を目の前で見て、改善し続けているのが、スターバックスのイノベーションです。

研究開発チームが作ったものを、最初から営業やマーケティングが関わりを持って、顧客ファンを増やすフィードバックをリアルタイムで共有しながら改善するのが営業の役割とも言えます。そうすることで社内の活性化が進みます。マイクロソフトのやり方は、同じ部署に5年以上在籍したら、別部署に転属したい場合、直属

ふるかわ すすむ 古川 享

日本マイクロソフト初代表取締役社長並びに初代会長。米国マイクロソフト本社副社長。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授を2020年3月に退官後、講演や若者へのメンター含め多岐にわたる分野でコンサルタントとして活躍中。ビル・ゲイツが最も信頼した日本人の一人。日本にとどまらず、海外にも多くのネットワークを持つ。

の上司に相談することなく、申請できます。もし転属が叶わなかった場合でも自分の上司には転属希望していたことが知られることはありません。そうした人事シムテムが、活きた人事の流動性を可能にします。

本日ご来場の支店長の方々は、本社と支店長の立場で距離感を保ちながらも本社に対して主張したいのか。ご自身の優秀なスタッフをどういうふうに生かしてあげたいのかと悩んでおられる方がたくさんおられると思います。今日の話が、御社の将来の進み方や”人財”の活性を含めてお役に立てれば幸いです。